

コロナ対応大型補正予算 総額100億5300万円



県民生活・事業者支援の立場で提案

6月議会開会

県議会6月定例会は、6月15日開会されました。

た、それに先立つ8日には、議会運営委員会、新型コロナウィルス感染症特別委員会が開かれ、一般会計6月補正の概要が示されました。国の地方創生臨時交付金活用も含めて100億5300万円の大型補正となりました。その内容は、

(1)事業者支援として、売り上げ減少事業者に対する事業継続応援給付金(27億6100万円)、地域生活交通事業者(バス、タクシー)支援(1億7200万円)、雇用調整助成金(県上乗せ、申請代行支援の継続)に関する支援(2億300万円)

(2)地域経済活性化対応として、「県民泊まってお出かけキャンペーン」の延長(28億3600万円)の他、消費応援クーポン事業や県産品を結婚するカップルに贈る結婚応援事業、県産米「はえぬぎ」の消費拡大支援など

(3)県民生活への支援として生活福祉資金のコロナ対応貸付原資の増額(9億3000万円)、生活困窮者や学生に対する県産米の提供、女性に対する支援体制の強化(相談窓口の設置、女性用品の提供等)、低所得者のひとり親世帯に1万円相当のカタログギフトを送る事業など

(4)感染拡大防止対策として県立特別支援学校や県有施設にセンサー式自動水栓を導入する事業、感染拡大に備えた検査体制強化、飲食店を対象とした県新型コロナウイルス対策認定制度の充実強化などです。

(1)〜(4)の新型コロナウイルスウィルス感染症対応に加え喫緊の課題として、昨年度大雪による農業用施設被害への支援や国庫



県要請をする参加者

6月議会は、私渡辺ゆり子が予算特別委員会の質問に立つ予定です。6月23日(水)の2番目 11時頃から内容は女性施策の推進、ジェンダー平等の観点からと教育の課題について取り上げようと準備しています。

補助議業の内示を踏まえた農畜産業者への支援など(4億9100万円)となっています。

2021年6月20日
IV-27
◇発行◇
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子
＜連絡先＞
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

ゆり子の視点

消費税減税は 総選挙の大争点

6月5日、消費論戦で浮き彫りに金を集め方、使い税廃止各界連絡会 なたた菅政権の本方を改め、格差是主催の学習講演会 質などが参加者に 正をさせよう！が山形市内であり 良く伝わったと思 ました。講師は、います。

消費税(付加価値税)や税制の世界の動き、そして国会 総選挙勝利で税 消費税(付加価値税)は、貧者はより貧しく 富者はより富み、ればと思いました。

日本共産党の大門 コロナ禍で富め 美起史参院議員で る者はより富み、ればと思いました。



飲食店へ支援拡充を

5月31日、「新型コロナから県民の命と暮らしを守る山形共同アクション」は「コロナ禍における飲食店事業者への支援拡充を県に要請し、私も同席しました。3月から4月にかけて独自の緊急事態宣言で営業時間短縮の要請を受けた山形市内の居酒屋や飲食店などに対して同アクションは、アンケートを実施しました。その結果を踏まえ、「売り上げが5割以上減った」が多くを占めたが、支援策が十分でないとして、実態の把握や国の持続化給付金の再給付を求めると、規模に応じた協力の支給などを要請しました。

5月には庄内、最上地域で発生した降ひょうによる野菜や果樹の被害が出ています。また、「ケージ」を発表しました。技術的指導や従来の災害対策の融資や補助に加え、新規に減収に応じた気象災害対策生産資材等緊急支援を実施する(今後の補正対応)方向です。3日には、山形県農民連(小林茂樹会長)が「凍霜害対策の早期実施」の要請書を高橋雅史農林水産部長に手渡し、私も同席しました。小林会長は、被害状況を説明しながら「被害認定は誰がいつ行うのか、被害額の算定や肥料・農薬購入支援など申請手続きは簡便な使いやすい制度にしてほしい」と要望しました。高橋部長は「被害認定は市町村が行う。支援の方法については検討していく」と答えました。

凍霜被害、ひょう害対策を求める

4月に発生した凍霜害によって、サクランボ、リンゴ、ブドウ、カキなど県内



県農民連が「凍霜害対策の早期実施」と県要請

は、被害状況を説明しながら「被害認定は誰がいつ行うのか、被害額の算定や肥料・農薬購入支援など申請手続きは簡便な使いやすい制度にしてほしい」と要望しました。高橋部長は「被害認定は市町村が行う。支援の方法については検討していく」と答えました。